

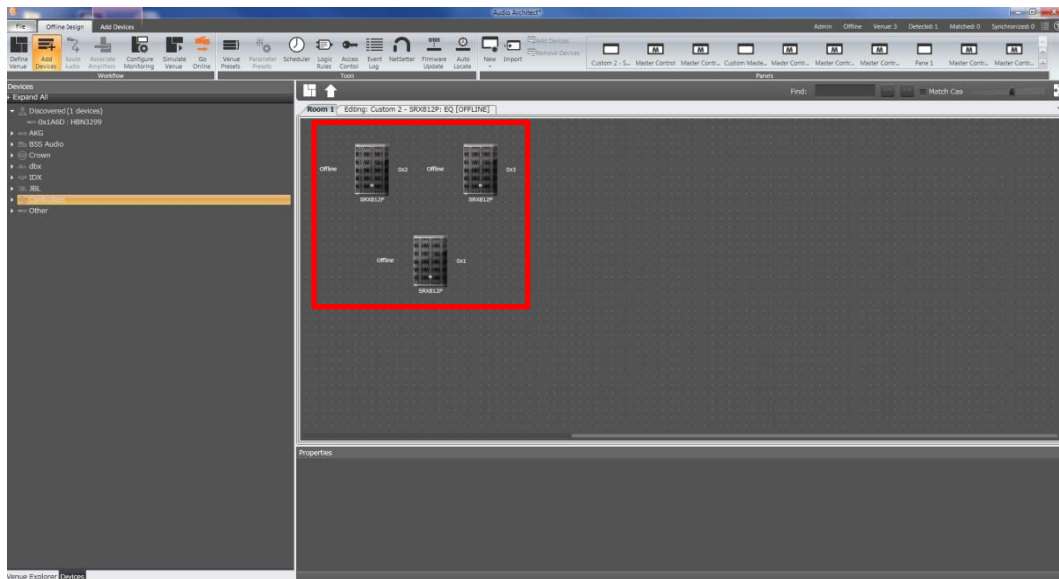
JBL SRX800 シリーズスピーカーを複数台をリンクしコントロールする方法

① ファクトリーマスターパネルを利用する方法

すべてのパラメーターをリンクすることは出来ませんが、簡単にリンクすることが出来ます。

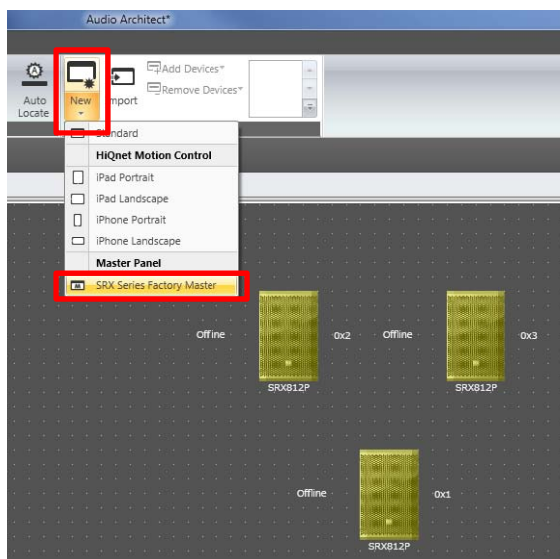
JBL SRX800 シリーズを配置します。

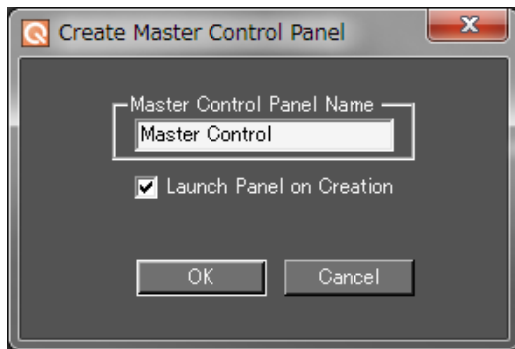
リンクさせたいスピーカーを複数個選択します。



スピーカーは同一機種以外でも出来ます。

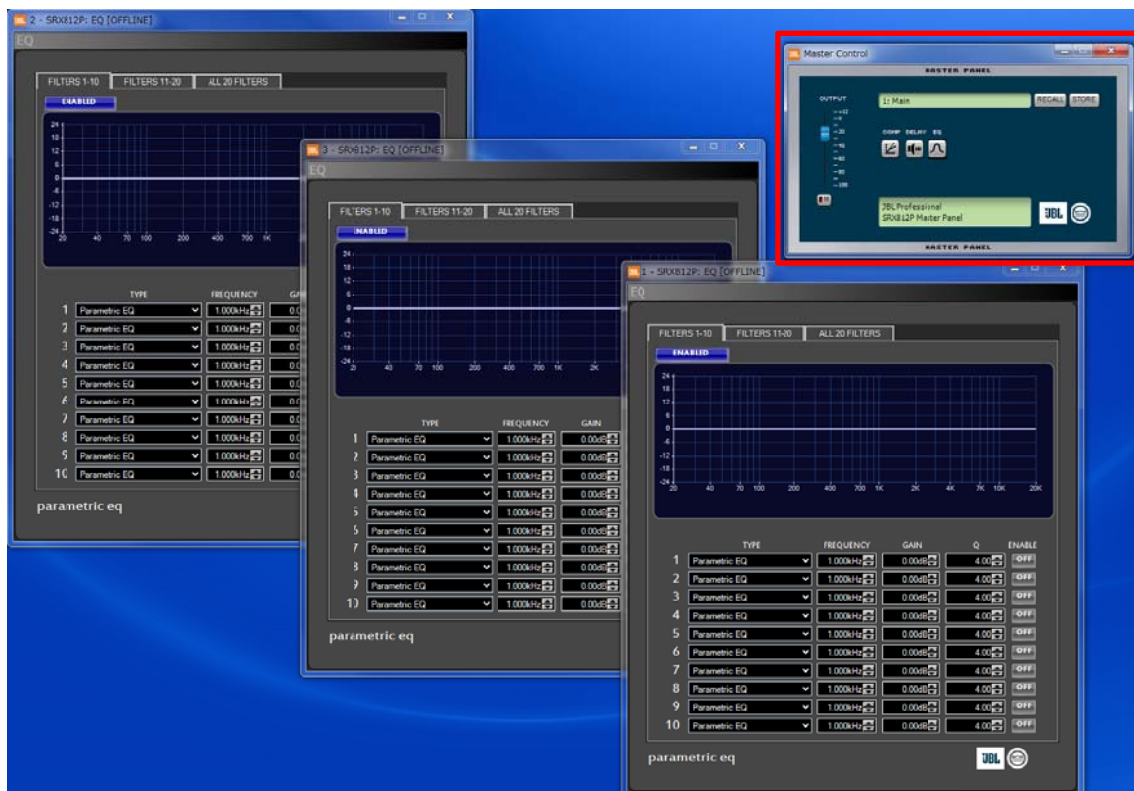
Venue 画面でリンクさせたい複数の JBL SRX シリーズを選択したままカスタムパネルの「NEW」より「SRX Series Factory Master」を選択します。





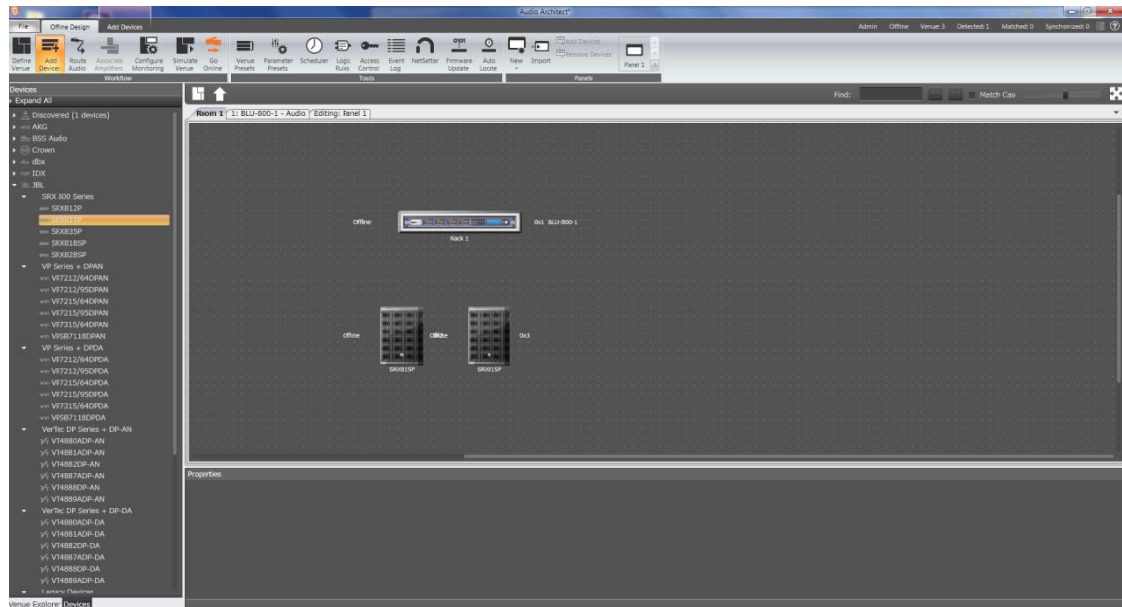
「SRX Series Factory Master」パネルに名前をつけます。

「Master Control」で操作すると、リンクしたスピーカーの設定を同時に変更することが出来ます。

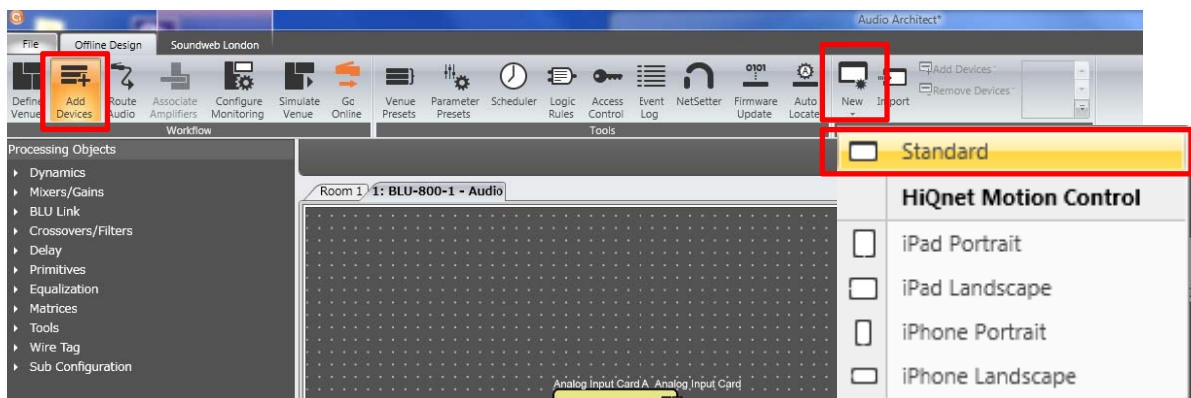


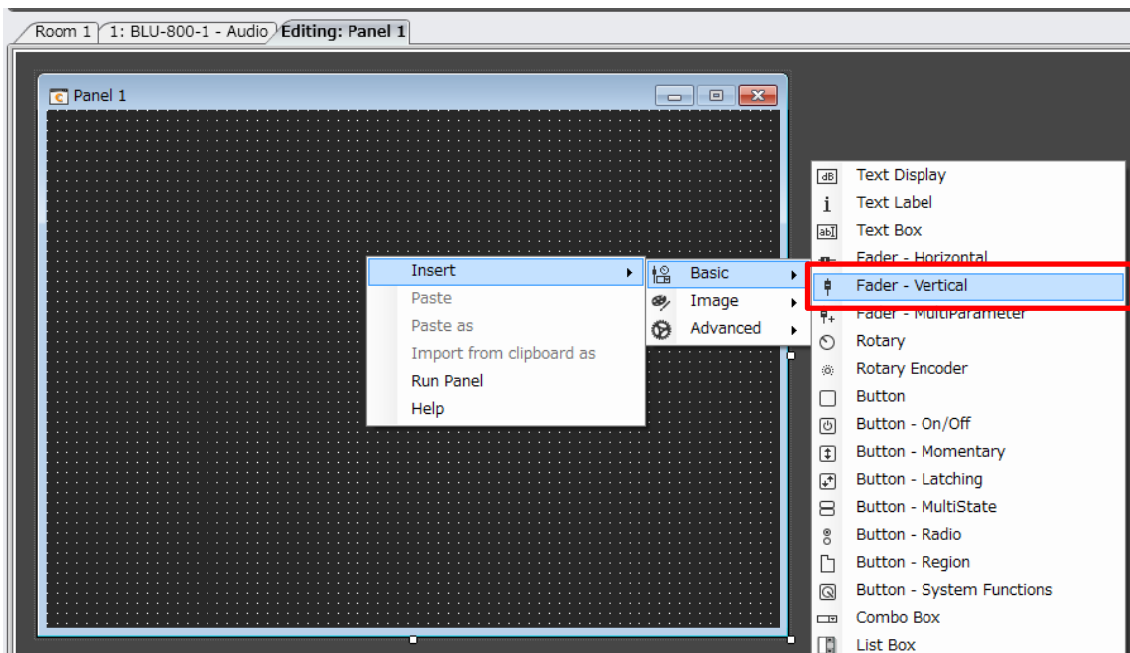
② カスタムパネルを使用して、個別にパラメーター調整をリンクコントロールする方法

JBL SRX800 シリーズを配置します。

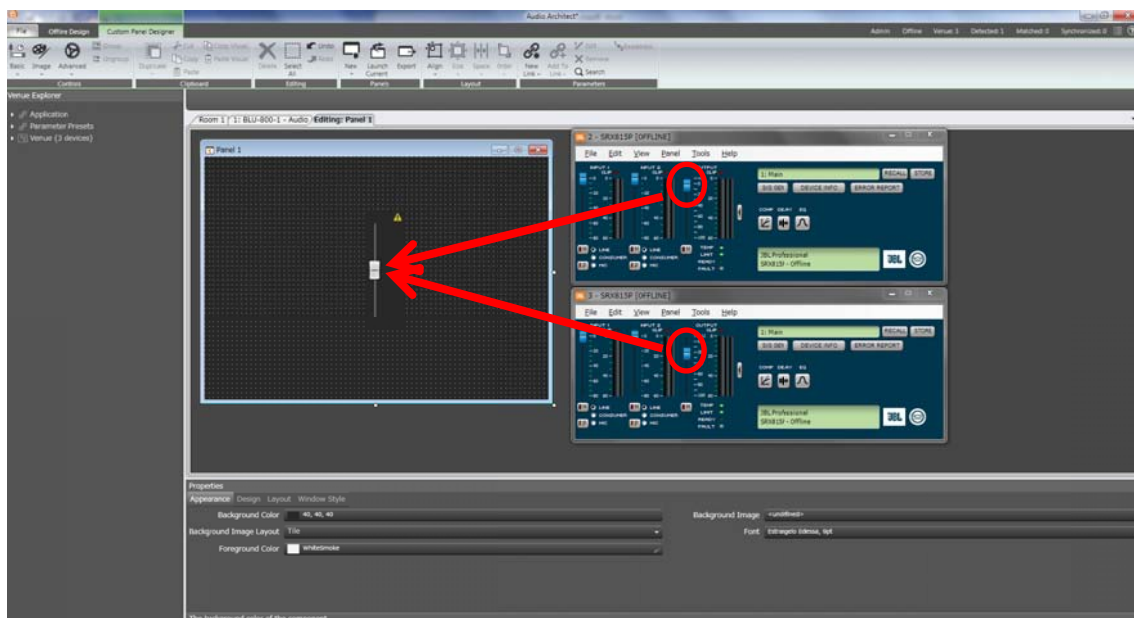


上部左の「Panel」エリアの「New」より「Standard」を選択し、カスタムパネルに名前をつけます。

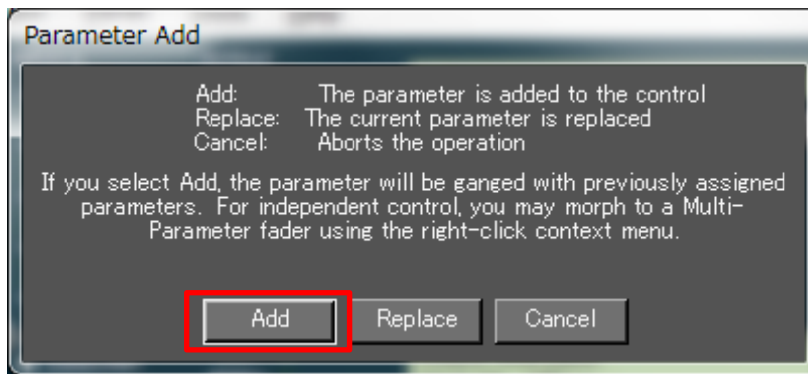




ここで、音量コントロールをリンクさせたいと想定します。
上記の「カスタムパネル」を表示した状態で、右クリックで「Fader」を追加します。

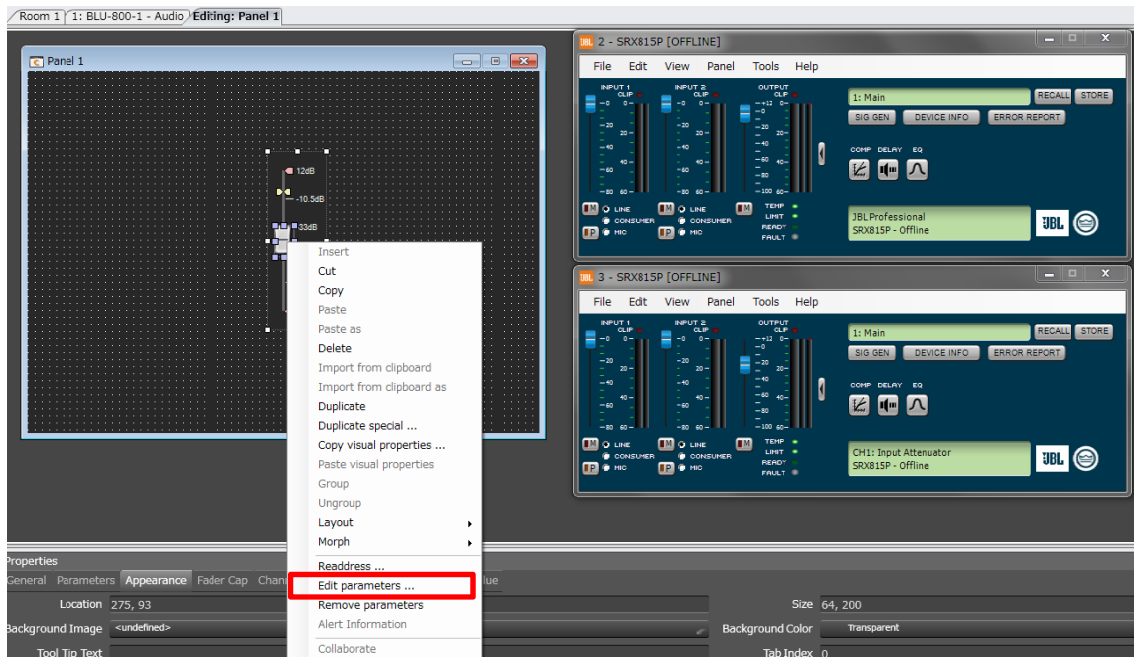


SRX800 シリーズのスピーカー操作パネルを2本分表示させます。
リンク動作させたいそれぞれの OUTPUT フェーダーを[Ctrl]を押しながらカスタムパネルの「Fader」へドラッグ&ドロップします。



2つ以上リンクさせようとする、追加（リンク）するか置き換えるかを問われるので、この場合は「Add」（リンク）を選択します。

何がリンクされているかを確認したい場合は、



カスタムパネルの「Fader」を選択し、右クリックで「Edit parameters」を選択します。

「Edit parameters」で開かれる下図「Parameter Address Editor」でリンク項目を確認したり、リンクをさらに追加することが出来ます。

下図の赤印内が、現在リンクされているパラメーターになります。

